

県内景況情報

2月期

● 製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

新型コロナウイルスの影響による売上減少が続いており、経営不振に陥っている組合員が数社ある。また、3月にて廃業する組合員が2社いる。

〈繊維工業〉

〔和装製品・その他の衣服・繊維製身の回り品製造業〕

新型コロナウイルスの影響により業況が更に悪化、先行きが見えない深刻な状況である。

〈木材・木製品〉

〔製材業・木製品製造業〕

売上高は変わらずといったところだが、問い合わせ、見積りが減少している様に感じられる。新型コロナウイルスの余波か、海外向けが減少している。

〈鉄鋼・金属〉

〔鉄素形材製造業〕

新型コロナウイルスの影響が2月21日くらいから出始めたと思われる。中国の青島、大連から入荷予定のものが入荷せず、単純な遅れなのか、ストップなのかが分からない状況がある。厳しい状況の「不変」であり、一段の悪化を予測する会員が多数を占める。業界として、下降気味の中で、追い討ちになりそうな状況である。

〈一般機器〉

〔一般機械器具製造業〕

電気使用量は前年同月比98.7%（前々年同月比93.1%）。昨年12月以降、受注低調傾向が続いている。

〈その他の製造業〉

〔豊等生活雑貨製品製造業〕

上旬は、消費税の複数税率の煽りを受け、また極寒、新型コロナウイルス等々消費者の受注控えに、厳しい現況である。中旬も動きは鈍いが少しずつ受注が増加傾向にあるが、福岡で新型コロナウイルス感染者が出たので、影響ありきと注視している。下旬も新型コロナウイルスの影響を多大に受けて悪化している。官公需は福岡地区に今月は受注があった。

● 非製造業

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

引き続き、暖冬の影響で歳末商戦も鍋物商材の販売が弱かった。売上の昨年対比減少の大きな原因である。新型コロナウイルスの影響で消費マインド低下や消費税率引き上げの影響で、客単価も低下傾向である。

〈卸売業〉

〔生鮮魚介卸売業〕

新型コロナウイルス感染防止で、飲食店・ホテル・学校等の納入が異常に少なくなり、業界の景気に大きく影響している。

〔飲食品卸売業〕

新型コロナウイルスの影響で、中国から輸入した青果物の入荷がほとんどない。

〈商店街〉

〔福岡市〕

新型コロナウイルスの影響で、外国人観光客のみならず日本人の買い物客も大幅に減少している。商店街が運営している川端ぜんざいの売上も半減状態である。

〈サービス業〉

〔旅館、ホテル〕

1月下旬からの新型コロナウイルスの影響が、2月に入り深刻になってきたようだ。家の中に引き込まれるとなると、温泉へどうぞとは宣伝できず、打つ手がないのが現状である。

〈建築業〉

〔総合工事業〕

建設業における人手不足は変わらず、職人の確保が厳しくなってきたしており、工事の引合いに影響が出始めているところもある。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

荷動きの低下が目立ってきており、収益が悪化してきている。標準的な運賃の告示制度導入への議員立法が運輸審議会に諮問され、4月中に告示予定である。

〈その他の非製造業〉

〔砂・砂利・玉石採取業〕

対前年比102%。公共需要の減少が著しい年度となっている（公共需要：民間需要＝19%：81%）。